

KITAURA

Culture + Innovation

大いなる夢咲かせます。

「変化の未来」に挑戦します。

「大地の息吹」に価値を創造します。

「明日の世代」にふれあいを手わたします。

平成14年12月26日(木) 発行No.423

広報きたうら

茨城県行方郡北浦町



今年1番のゴールデン・カップル

〈金婚祝賀会〉

みんなで考えよう「市町村合併」③ 行政懇談会 p2

環境問題

給食

体験活動

視察研修報告

インフォメーション

町史編さんだより⑩

はつらつ保健だより・新着図書

みんなの広場

地球温暖化を考える p6

町の野菜を使った献立② p8

北浦中学生、農作業を体験 p9

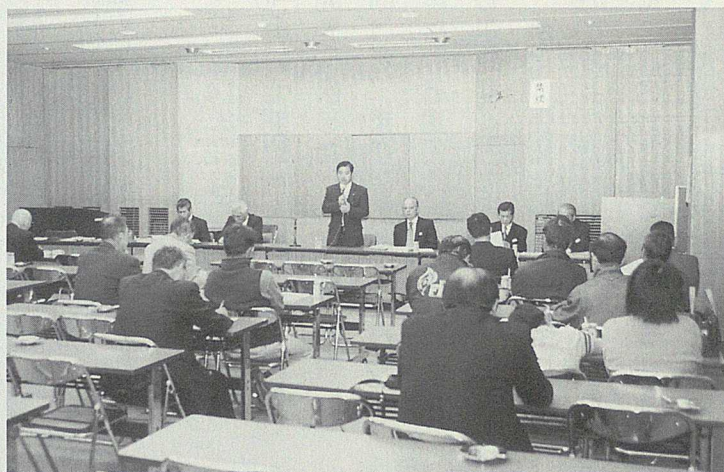
中国の魅力を見聞する p10

「北浦の野菜を知ろう」～要小/香取神社上棟式/金婚祝賀会ほか p12

町村合併の歴史 p15

子育て健康講座・親子遊びの教室「ムーブメント」 p16

いきいきマイライフ/きたうら文芸/ママと2shot/新鮮人 p17



↑ 要公民館



↑ 北浦町役場



↑ 武田公民館

町民 合併ありきで計画を進めていくのか。

行政 そうではありません。今回発足しました、任意協議会の中で、建設計画（まちづくりの素案）を作成し、それを基に町民の皆さんと検討をしていく中で合併の是非を決めていくことになります。

町民 合併検討協議会のメンバーはどのような基準で委嘱されたのか。

行政 メンバーにつきましては、議会の代表・議会合併委員会の委員長・区長会の会長・商工会の代表・農業の代表・若い世代で文化や、スポーツに活躍している方を人選いたしました。

町民 合併後、独自のまちづくりができるのか。

行政 まず、建設計画の中で大きな写真真を町民の皆さんに説明し、町村がどんな独立をしていくのか、将来の展望がどうなのか、このようなものを皆さんに提案し、皆さんと一緒に北浦町の将来

のまちづくりを議論していきま

町民 合併しなかったら、どうなるのか。

行政 最初に、合併建設計画を作成し、皆さんにご相談して、合併の是非を決めていただきます。合併しなかった場合、これから北浦町が、独自にまちづくりをしていくにはどうするのかの議論をしなければなりません。

町民 合併方式の新設・編入について説明してほしい。

行政 新設は、対等合併を基本として、同じ立場で話をしていくというものです。編入は、条件的に相手の枠組みで進みます。最近では、牛堀町と潮来町が合併しましたが、あれはまさに編入合併です。

町民 今後、各地区の懇談会を予定しているのか。

行政 今回、旧村単位での開催でしたが、この経過を踏まえて、各地区での懇談会を開催したい。



みんなで考えよう

「市町村合併」

行政懇談会

第3回は、行政懇談会の様子をお知らせします。

行政懇談会は11月25日（武田公民館）、29日（北浦町役場）、12月4日（要公民館）の3回開催し、町民の方から、直接ご意見をいただきました。

また、12月5日開催された「第2回麻生町・北浦町合併検討協議会」の内容についても報告します。

11月25日（31名）、29日（15名）、12月4日（19名）、延べ65名の参加を得て、さまざまな議論が繰り広げられました。

町民と行政との質疑応答の内容は次のとおりです。

町民 合併パターンは北浦町・麻生町・玉造町なのか。

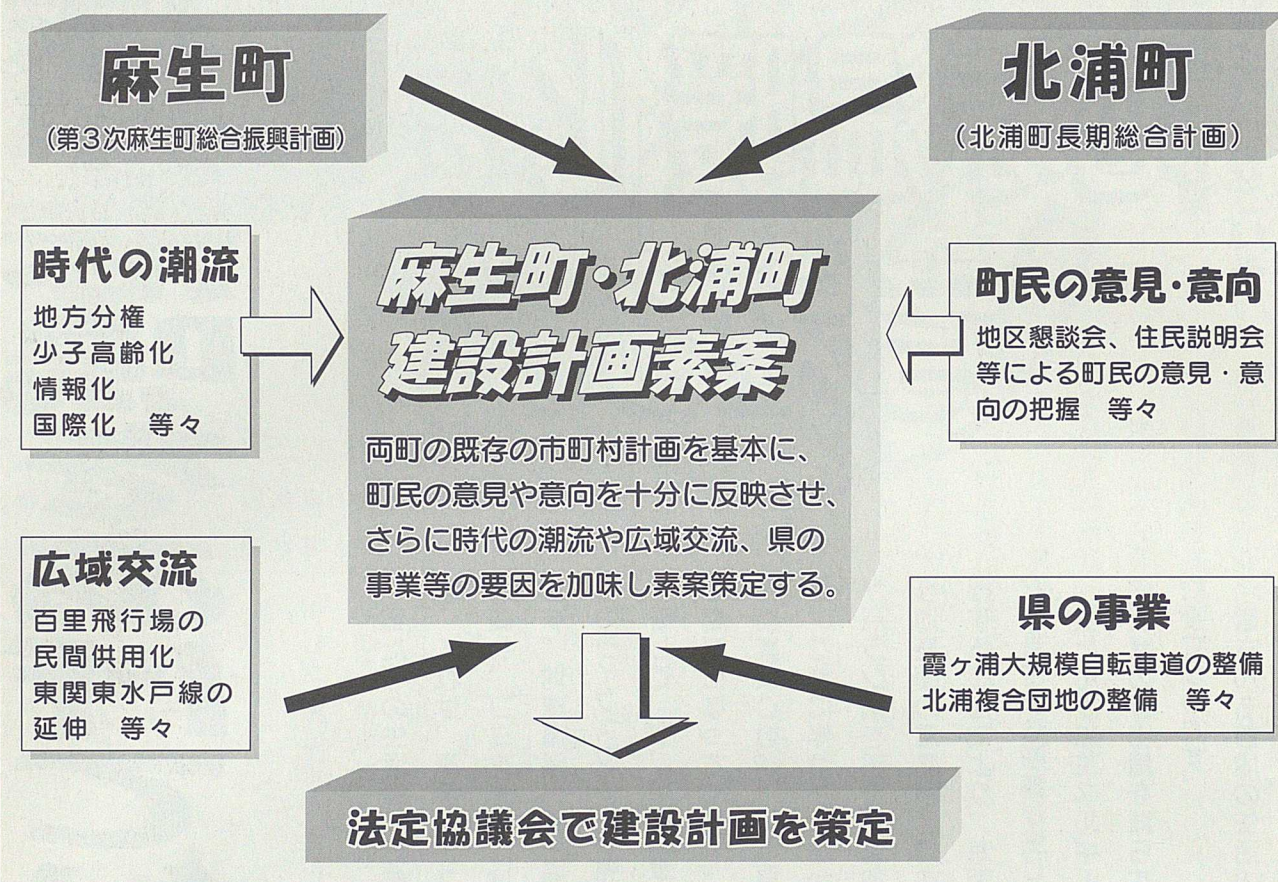
行政 あくまでも、茨城県で描いた合併パターンですが、これまでの広域行政（美化組合・消防等）での枠組みを基本とした北浦町・麻生町、そして玉造町の3町による合併を視野に入れて、合併の検討を始めました。

その他にも鹿行北部（鹿嶋市・旭村・大洋村・玉造町・鉾田町・北浦町）での研究会も発足しております。

町民 3町（北浦町・麻生町・玉造町）それぞれの人口と地方債を教えてください。

行政 平成十二年の国政調査から、北浦町の人口（10,938人）、地方債（47億円）、麻生町の人口（16,587人）、地方債（52億円）、玉造町の人口（13,940人）、地方債（30億円）です。それぞれの町の起債（借金）は、各事業の結果を伴うものであり、北浦町であれば、「ふれあいの郷構想」の施設等です。

麻生町・北浦町合併検討協議会での建設計画(素案)の策定イメージ



第3次麻生町総合振興計画

【まちづくりの基本方針】

- 快適な生活環境の創造 ○地域性の反映 ○地域活力の発揮

【まちづくりの目標】

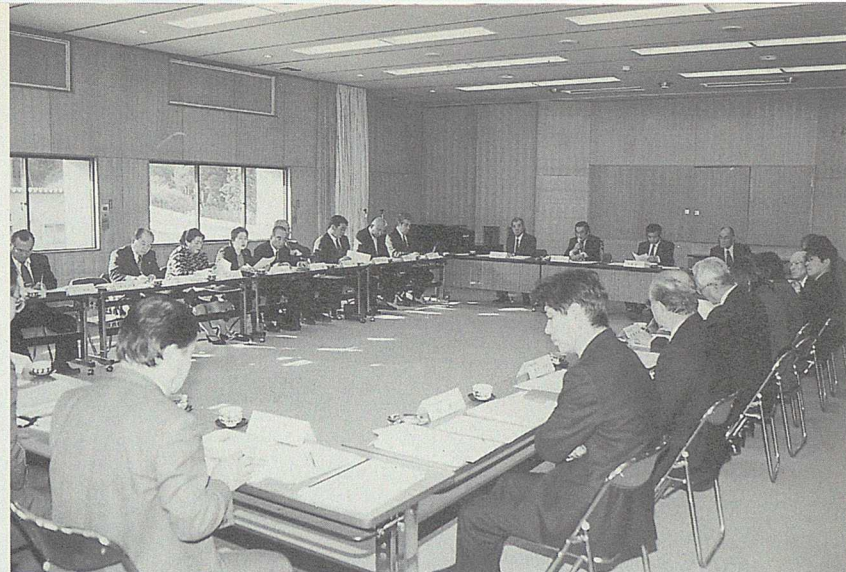
- やすらぎと快適さの基礎づくり（生活環境の整備）○やさしさとうるおいのある地域づくり（保健・医療と福祉の充実）○活力に満ちた創造性豊かな産業づくり（産業の振興）○豊かな心と個性あふれる人づくり（教育・文化の向上）○対話とふれあいのあるまちづくり（連帯と交流の促進）

【目指すべき将来像】

- 豊かな自然との調和を大切に地域環境整備が進み、安全で快適な暮らしができる美しい町（生活環境の整備）○町民が相互扶助の心を持ち、いのちや健康を大切に明るく（保健・医療と福祉の充実）○自主的創意工夫によって、町民自らが自立をめざす活気ある町（産業の振興）○恵まれた豊かな自然環境や町の歴史、伝統文化を大切に落着きのある町（教育・文化の向上）○町民一人ひとりがまちづくりに参画し、新しい文化の薫る“風光る霞ヶ浦あそう”の創出をめざす元気な町（連帯と交流の促進）

【重点プロジェクト】

- 東関東自動車道水戸線整備など広域道路体系の形成 ○魅力と安らぎを感じる住環境の形成 ○広域的観光・レクリエーション拠点の形成 ○霞ヶ浦・北浦の美しい水辺環境の形成と緑化の促進 ○少子高齢化に対応できるサービスネットワークの形成 ○産業の振興と地域活性化の推進



↑ 第2回麻生町・北浦町合併検討協議会の様子

平成14年12月5日、第2回麻生町・北浦町合併検討協議会を開催しました。今回は、合併に向けて、まず、まちづくりの基本となる建設計画の方針を決定しました。

また、委員自らが、合併についてのより深い知識を得るために、県の地方課より講師を迎えて、勉強会を開催しました。

建設計画(素案)の策定方針

目的

建設計画の素案を作成して、合併後の新しい町づくりのイメージを両町の町民の皆さんに広報・PRします。

この素案を、今後の行政懇談会に活用して、みなさんの意見・要望をできるだけ反映させます。

また、次の段階の法定協議会における建設計画の素案とします。

策定方法

素案は、既存の両町の市町村計画である「北浦町長期総合計画」及び「第3次麻生町総合振興計画」を基本にして、合併による新たなまちづくりの視点を加えて作成します。

これには、茨城県の計画も加えていきます。

具体的には、両町の基本構想・基本計画などを合わせて、主要な事業を取り入れて策定します。

なお、この建設計画(素案)は、町民に合併後の将来のまちづくりのイメージを理解するための大切な事柄ですから、概要版としてリーフレットも併せて作成します。

建設計画の素案はいつできるのですか。

▲平成15年の1月下旬を目標に原案の作成を進めていきます。

参考

建設計画を策定するための基本となる、両町の振興計画をこの項と次の項に掲載しました。

北浦町長期総合計画

【まちづくりの基本方針】

- 「人」と「自然」と「経済」を活かしたまちづくり ○カルチャーイノベーション北浦
○北浦町ステートメント

【まちづくりの目標】

○みなが健やかで安心して暮らせ、気持ちはいつも新鮮で、新しいこともどしどし取入れていく、豊かな自然と豊かな人情、産業が調和した北浦町独自の生活を創る。美しく、楽しく、輝くまち・北浦を目指す。

【目指すべき将来像】

○心と体の元気を育む人づくり ○個性を引き出し、交流を促進する楽しい仕掛けづくり ○安全で快適な暮らしを支える美しい環境づくり ○まちづくりを支える体制づくり

【重点プロジェクト】

- 北浦複合団地の開発 ○東関東自動車道水戸線の計画 ○百里飛行場の民間供用化

地球が悲鳴をあげています

地球温暖化を 考える

私たちの生活は、近年、大変便利で豊かになりましたが、これは、資源やエネルギーを大量に使って、生産、消費し、ゴミを大量に捨てることによって成り立っています。地球温暖化など地球環境の面から私たちは自分たちのライフスタイルを見直すことが求められています。

そして、今、地球の平均気温が上昇する「地球温暖化」が問題になっています。地球温暖化とは、大気中の二酸化炭素（CO₂）など温室効果ガスの大気中濃度が増加し、これに伴って太陽からの日射や地表から熱の一部がバランスを超えて温室効果ガスに吸収されることにより地表の温度が上昇する現象であり、地球温暖化が進行することにより、海面水位の上昇、異常気象の増加などさまざまな影響が生じています。

私たちが省エネルギーを心がけるということは、二酸化炭素の排出量を減らすことになり、地球温暖化の防止に役立つのです。

皆さんも普段の生活の中で、できることから始めてみませんか？

環境にやさしい暮らし わたしたちに できること

- 毎日の生活の中で、私たちにできることはたくさんあります。今の暮らしを見直して環境にやさしい暮らしを始めてみましょう。
- 冷房の温度を1℃高く、暖房の温度を1℃低く設定しましょう。
- カーテンを利用して太陽光の入射を調整したり、着る物を工夫したりなどして冷・暖房を入れる時期を少し待ってみましょう。
- 年間約31kgのCO₂の削減
- 年間約2000円の節約
- 週2日往復8kmの車の運転をやめる。
- 通勤や買い物の際にバスや鉄道、自転車を利用しましょう。歩いたり、自転車に乗ったほうが健康です。
- 年間約185kgのCO₂の削減
- 年間約8000円の節約
- 1日5分間のアイドリングストップを行う。
- 駐車や長時間停車するときは車のエンジンを切りましょう。
- 年間約39kgのCO₂の削減
- 年間約8000円の節約
- 待機電力を90%削減する。
- 主電源を切りましょう。長時間使わないときはコンセントを抜きましょう。
- 年間約87kgのCO₂の削減
- 年間約6000円の節約
- シャワーを1日1分家族全員が減らす。
- 風呂の残り湯を洗濯に使いまわす。
- テレビ番組を選び、1日1時間テレビ利用を減らす。
- 家族が同じ部屋で団らんし、暖房と照明の利用を2割減らす。
- など、たくさんのエコライフ行動があります。
- 皆さんも自分のエコライフを始めてください。

国際規模で行われている 地球温暖化対策

現在、地球温暖化の防止対策は、国際的に行われています。一九九七年には、地球温暖化防止京都会議が開催され、「京都議定書」が採択されました。

このなかで我が国については、温室効果ガスの総排出量を二〇〇八年から二〇一二年までに、一九九〇年レベルから六%削減する目標が定められ、「地球温暖化対策の推進に関する法律」が一九九九年四月に施行されました。

地方公共団体については、自らの事務及び事業に関する温室効果ガスの排出抑制等のための実行計画（地球温暖化対策実行計画）の策定が義務づけられました。

本町においても現状を把握しながら計画（二〇〇三年から二〇〇七年削減目標設定）の策定を急ぐ必要があります。

今年度においては、町庁舎、出

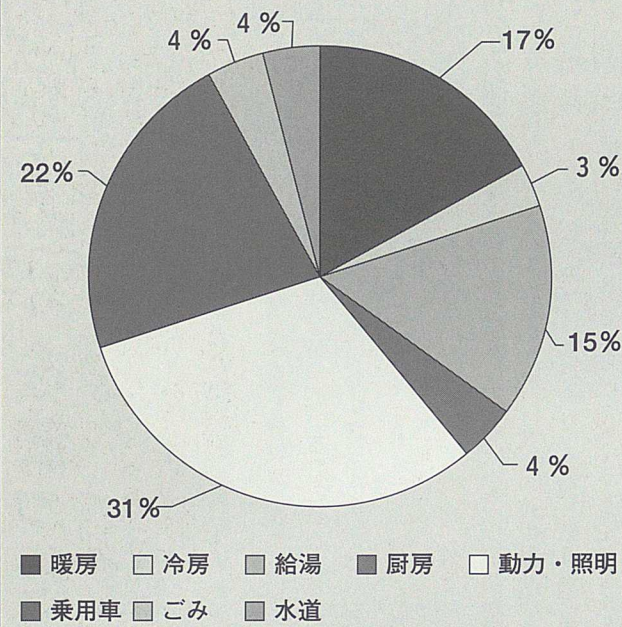
これからの取り組み

温室効果ガス別の地球温暖化への寄与は、二酸化炭素99・7%、メタン0・1%、一酸化二窒素0・1%、オゾン層破壊物質でもあるフロン類0・1%となっています。つまり、石油や石炭など化石燃料の燃焼などによって排出される二酸化炭素が最大の温暖化の原因と言えます。そのため、産業界における徹底した省エネやエネルギー転換などが進められ、これからのより積極的な対策が期待されます。

一方、私たちのライフスタイルを変換することが不可欠となります。生活の中で、できるかぎり資源・エネルギーの無駄使いを排除し、再利用やリサイクルを推進していくことが、循環型社会を構築し地球温暖化を防止する基本となります。

地球温暖化を考える

図：一般家庭から排出されるCO₂のうちわけ（1999年推計値）



先機関、学校、幼稚園の各職場から、地球温暖化対策実行計画（温室効果ガス削減）の策定に向けた、職場推進員を選出し、実践、啓発に向けた取り組みがスタートしたところです。



町の野菜を使った献立

生産者の顔がわかる野菜を子供たちへ提供する——
広報きたうら10月号で、北浦産みず菜と青梗菜を使った給食を紹介したところ、多くの皆さんがこの取り組みに興味を持ってくださることがわかりました。
そこで今回は、昨年11月から学校給食に取り入れられている「なめこ・しめじ」のキノコ2種類と、これから旬を迎える「レンコン」について、生産者と当日の給食をご紹介します。

11/25 (月) の献立

ごはん・牛乳・ちくわの
いそべ揚げ・きりぼし炒
め煮・なめこ汁・みかん



●生産者 小嶋 得男さん (三和)



「きりぼし炒め煮」に入っていたしめじを作っているのは、小嶋さん。しめじは、食べやすい大きさに分けられ、調理される当日に給食センターに運ばれます。子供に敬遠されがちなキノコですが、最近は給



●生産者 村上喜一さん (三和)

食での使用量が増えています。

小嶋さんは「北浦町でキノコを作っていることを知らない人も多いのでは？うちのしめじは間違いなく無農薬だから、安心して食べてもらいたいですね」と話してくれました。

「なめこ汁」の具材、なめこの生産者である村上さん。「地域の将来を担う子供たちの健康を考えて、いい食材を提供したい。そのためには、作業にも気を使います」と給食へ食材提供にあたっての責任を語ります。なめこも調理当日に給食センターに届きます。新鮮なうちに調理されるのも、地場産ならではのメリットですね。

11/27 (水) の献立

ごはん・牛乳・鮭の塩焼・
イクラ入りのつぺい汁・
きんぴらごぼう・笹団子



●生産者 高橋 勲さん (繁昌)



レンコン研究会の会長でもある高橋さん。今回の献立の中で、高橋さんのレンコンは「きんぴらごぼう」の中に入っていました。高橋さんがレンコンを給食に提供するのは、今回が4回目。給食にレンコンが出た日は、小学生のお子さんが真っ先に報告してくれるそうです。

「掘りたて、新鮮なものを納めるようにしています。新鮮で無漂白のレンコンは、このように（選別作業中のものを見せていただきました）クリーム色なんです。：こいつた取り組みはとっても嬉しいですね。やはり子供たちには新鮮で生産者の顔の分かる物を食べてもらいたい」。高橋さんの言葉からは、レンコンと子供たちに対する愛情が感じ取れました。



●津澄小学校一年生の親子給食会におじゃましました！

↑ 磯山栄養士 (右上) と一年生親子

11月27日の献立は、新潟県の郷土料理。磯山栄養士さんのお話の後、給食当番の号令で「いただきます！」。
溝口克明さんと、みどりさん親子 (山田) に今日の給食について聞きました。克明くん、野菜は苦手、今日の給食では「イクラが好き」と。お母さんは「これからたくさん種類の町野菜が出ると思いますね。知ってる人が作っていると、安心感があります」と今日の給食には満足の様子。
「お母さんと一緒に嬉しい」と少しはにかんだ様子なのは石間美樹ちゃん (繁昌)。お母さんの清美さんは「親子給食は初めて。しかも、今日の献立には町野菜が使われていて嬉しい。安全・安心です、(レンコン生産者の) 高橋さんを知ってるので一味違いますね」と話しました。

生徒と先生、鉦頭会議・農家が協力し実現！

北浦中学生徒、農作業を体験

「経験のないことをするのは、とても新鮮で楽しい」



今年になって、北浦町産の野菜が学校給食に登場し、青梗菜の共販体制が進められるなど、町の農業について新たな取り組みが次々と行われています。こうした取り組みの広がりは「生産者がわかる安全な野菜を食べたい」また「全国一の産地として、出荷組織の枠を超え、北浦青梗菜をアピールしよう」といった、皆さんの町農業に対する積極性のあらわれだと思えます。

れいにする作業です。中腰での作業に、菊地君は「農業は初めて。作業はきついかもしれない」。伊藤君と藍原君も「農作業がこんなに大変だとは思わなかった」、「腰が痛い」とそれぞれコメント。3人とも農作業の大変さを体験しました。

「赤いダイヤ」と称される『桃太郎トマト』の生産者、亀田淳さん (行戸)

そのなか、10月24日(木)、北浦中学校の一年生(110名)が、町内42戸の農家で農作業を体験しました。作業内容は、種まきから収穫・箱詰め・出荷作業など。扱う農作物もサツマイモ・青梗菜・みず菜とさまざま。当日は雨模様でしたが、ハウスや屋内で作業にあたった生徒たち取材しました。慣れない農作業をした生徒たちの感想、指導にあたった先生そして農家の方の意見を紹介します。

の作業を体験したのは、二組の富田真衣さん・前田由香里さん・山崎裕美さん。トマトの選別と箱詰め作業を行いました。まだ青いトマトを前に「トマトを色と形別に分けるのが大変。箱作りも慣れるまでは大変でした」と山崎さん。富田さんは「とても大変だけど、慣れるとおもしろい！」とトマトを手

鉦頭会議会長、小林久さん (行戸)

の作業場。奥さんの和子さん、中国人研修生3人と共に作業をしたのは、一組の齊藤結花さんと沼里美紀さん。2人は出荷用のダンボール箱を組み立て、研修生が選別し袋詰めしたみず菜を箱詰めしました。家は農家でないという齊藤さん。初めての作業は「楽しかった」。また、沼里さんは「経験のないことをするのは、とても新鮮で楽しい」と。二人は中国人研修生から中国語を学ぶなど「小さな国際交流」も果たし、満足そうな様子。子供たちの作業を見守る和子さんは「地元の野菜を給食に使っているようで、とてもよいことだと思います。これから(種類を)どんどん増やしてほしい」とこれからの給食へ期待を込め話します。

学年主任の藤沼先生にもお話を聞きました。「農業体験は今年で2年目。以前は「職場体験」であったが、北浦町は農業が盛んなので農業体験をとり入れた。鉦頭会議さんの協力で助かりました」。

このように、子供たちが実体験を通じ、農業に親しむ機会があること、またそれをサポートする大人の存在は、今後、町農業の発展に大きく関わっていくものと期待されます。



第44回町剣道大会

◆ 期 日 11月1日(金)

◆ 場 所 町民柔剣道場

◆ 結 果

【小学生低学年の部】

優 勝 田所 徳馬

準優勝 根本 みか

第3位 前田 若葉 藤原 幸

【小学生高学年女子の部】

優 勝 高崎 夕姫

準優勝 溝口 英里香

第3位 上田 あかね 佐藤 加奈

【小学生高学年男子の部】

優 勝 田所 一馬

準優勝 宮崎 正太郎

第3位 大里 正樹 齋藤 雅樹

【中学生の部】

優 勝 野村 理絵

準優勝 邊田 浩平

第3位 齋藤 純一 額賀 秀章

第24回町内 バスケットボール大会

◆ 期 日 11月24日(日)

◆ 場 所 町体育館

◆ 結 果

【男子の部】

優 勝 スズキホーム

準優勝 ラプターズ

【女子の部】

優 勝 フラップス

準優勝 北浦クラブ



鹿島学園高等学校3年

やまぐち まさる

山口 勝くん レスリング競技(個人戦)国体第2位!

鹿島学園レスリング部の山口勝くんが、先に高知県で開催された『第57回国民体育大会秋季大会(よさこい高知国体)』において、レスリング競技少年男子グレコローマンスタイル130kg級第2位の素晴らしい成績を修めました。

山口くんについては『広報きたうら』8月号スポットコーナーでもご紹介しましたが、インターハイ初出場で団体入賞の成績に甘んじることなく、大会後も自己のトレーニングに励んだのでしょう。その結果が今回の輝かしい成績につながったものと思います。…これからも、彼の更なる活躍が期待されます!



山口 勝くん(山田)
鹿島学園高等学校3年
昭和59年8月24生まれ
身長:180cm 体重:113kg

第5回 町ニュースポーツ大会

◆ 期 日 11月10日(日)

◆ 場 所 町第1グラウンド・町体育館

◆ 結 果

☆町内ディスクゴルフ大会

【小学生の部】

(団体戦)

(個人戦)

優 勝 小 幡 南 A 山本 美里

準優勝 小 貫 フレンズ 阿部 祥子

第3位 三和ボーイズ 田所 徳馬

☆町内ターゲット・バードゴルフ大会

【一般の部】

(団体戦)

(個人戦)

優 勝 小 幡 北 水野 勇

準優勝 小 貫 仲良し 水野 昭代

第3位 吉川クラブ 山崎 宏

☆町内インドアカ大会

【一般の部】

【ファミリーの部】

(団体戦)

(団体戦)

優 勝 山田4区B 山田4区

準優勝 小 貫 B 南 高岡

第3位 ミックス 小 貫 A

小 幡 南 A 中 根

☆町内グラウンドゴルフ大会

【シルバーの部】

(団体戦)

(個人戦)

優 勝 小 幡 松寿会 A 宮内 得雄

準優勝 両宿長寿会 A 吉田 早苗

第3位 南高岡長寿会 A 加納 精

中国の魅力を
見聞する



↑ 来町予定の研修生と意見交換する町長及び農業委員

町農業委員会一行(十七名)は、「中国の野菜市場見学と農業研修生及び実習生との交流」を目的に十月十六日から二十日までの五日間の日程で、中国「四川省成都市・雲南省昆明市」の視察研修を実施しましたので、その報告をいたします。

十月十六日に北浦を発ち成田空港より一路、中国へ。一行は、雲南省昆明経由にて夕刻、四川省成都市に到着しました。現地において簡単なレセプション、夕食の後、深夜に近い時刻に二十四時間商取引が行われている「成都農産品中心批發市」を見学しました。

大型トラック・軽トラック・二輪バイク運搬車・リヤカー等が隙間なく置いてある様子は、日本の整然とした野菜市場とは異なり、市場と言っても、いわゆる青空市場です。しかし野菜類のその量の多さには、目を見張るものがあります。

また、ダンボール箱等は使用されず、ほとんど竹籠が使われていました。野菜単品(人参・長なす・葉生菜・冬瓜・かぼちゃ等)ごとに荷台に満載されている中、その場で取引が行われており、市場の往来を見れば、どちらが売人か、買受人か、見分けがつかない程の混雑ぶりでした。(この市場も近々改築予定です)

次の日、北浦町農家における農業研修生及び実習生の実情を踏まえ、中国側の政府系派遣機関「四川省人民政府外国担当室」を訪問し、伊藤町長、山崎農業委員長、そして関係

者による意見交換会が行われました。

また、平成十五年一月から北浦町の農家に来町を予定している研修生の農家を訪問し、本人や家族との交流を経て、田園風景や、農作業を直接見聞できたことは、今回の視察研修の大きな成果でした。土地は未整備、小區画で、作業は手作業の農業ですが、機械化が進めば日本の農業にとって、驚異的な相手国となることは間違いありません。

中国の国土の広大さ(ひとつの省が日本国土に相当)と人口の多さ(推定十三億人)には、驚かされるばかりですが、今回の視察研修を通して、北浦町農家における農業研修生及び実習生、四川省人民政府外国担当室と更なる交流を深めることができ、急速に発展し変革しつつある中国の姿を見ることができました。

農業委員会視察研修報告

中国の魅力を見聞する

なめがた料理コンテスト 小学生大会



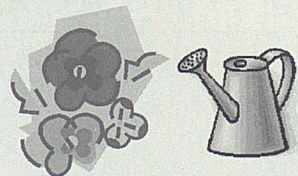
第二回『なめがた再発見フォーラム』が、十一月十七日(日)道の駅いたこにて開催され、行方地域の特性を生かした様々なイベントが催されました。行方地域の小学生による、地元食材を使った料理コンテスト『なめがた料理コンテスト小学生大会』では、レシピ審査を通過した9組のチームがオリジナル料理の腕を競いました。北浦町からは、小貫小学校五年生の箕輪菜さん(写真右)、横田文美さん(写真中央)、吉田絵美子さん(写真左)が出場し「ほうれんそうとしらすの揚げパン」と「かんてんサラダ」の二品で見事、審査員特別賞を受賞しました。

食生活改善推進員は、十一月十六日(土)、町保健福祉センターに於いて地区活動及び『うまいもんどころ食彩運動』―県民が県産品を地産地消し、健全な食生活について理解を深めていく運動―として料理教室を行いました。講師に関根幸子さん(吉川・特産物加工研究会会員)を迎え、食改推進員や集まった親子・中学生たちは、食改地区活動の献立として「イワシのチーズロール」・「牛乳入り茶碗蒸し」ほか、うまいもんどころ食彩運動の献立として「サツマイモのきな粉団子」などに挑戦。町特産品の野菜うどん『北浦のかおり(みつば味)』には、たくさん野菜が入った熱々の汁がかり「野菜たっぷりみつばうどん」のできあがり！大人も子供も郷土の味に大満足し、食を見直す一日となりました。

食改進地区活動・ うまいもんどころ食彩運動



わくわくサタデー教室



第2回/ガーデニング教室

第二回のわくわくサタデー教室は「ガーデニング教室」を行いました。講師は園芸家の松本明男さん(小貫)と公民館職員。集まった子供たち16名は、ノースポールや葉ぼたん・ピオラなどを丸型プランターに寄せ植えし、最後は参加者全員で完成した鉢植えを持って記念撮影。みんな満足そうな表情でした。



◆町職員人事異動◆

十一月一日付けで、次のとおり町職員の人事異動がありました。
※()内は旧職

横瀬 洋三

教育次長兼学校教育課長

(公民館長)

辺田 洋一郎

公民館長兼生涯学習課長

(生涯学習課長)

「北浦の野菜を知ろう」～要小



子供たちからお礼の手紙

11月6日にコロッケをいっしょにつくってありがとうございました。わたしは、おばあさんが前の日から料理の準備をしてくれていたことを知りました。本当にありがとうございました。

野菜の事を教えてくれたおとうさんへ
いろいろな野菜の事を教えてくれてありがとございました。教えてくれただけでなく、野菜を見ることもできました。そして野菜の名前も教えてくれました。その中にはお花を育てている人もいました。きれいな花でした。また野菜の事をもっと教えてください。

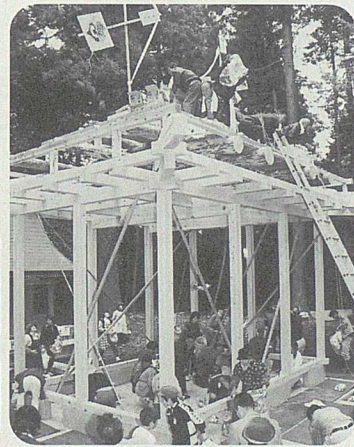
四年 鈴木祐香里さん
三年 根本 梨沙さん

稲の栽培や学校菜園での野菜作り等、農業に関する教育が盛んな要小(横瀬みよ校長)。十一月六日(水)は、ゲストティーチャーとして、町在住の県農業経営士等(三・四年生(計37名))が「北浦の野菜を知ろう」と題して、北浦野菜について学習しました。児童たちは、教室に集められた北浦産の野菜に触れ、初めて見る野菜については名前を聞くなどして町農業に対する理解を深めました。県農業経営士の田中孝之さんは「こういった授業は、町で初めての試み。今日のようには子供たちが喜んでくれたら他の学校でも実施するかもしれないですね」と子供たちを前に笑顔。

その後、児童たちは調理実習室に移動し、北浦産レンコンを使ったコロッケ作りに挑戦しました。横瀬校長は「農業士のみなさんにはお世話になりました。地域の人は先生。地域の学習を深めることで、心のふるさとを持つ子供を育成したい」と話しました。



香取神社上棟式



老朽化のため改築が進められていた小貫地区の香取神社で、十一月六日(水)拝殿の上棟式が行われました。上棟式には氏子・地区住民の他、小貫小学校の一・二年生も参加し、振舞われた紅白のもちやお菓子を大喜び。新しい拝殿の完成は十二月下旬を予定しています。二〇〇三年の初詣は、新しい拝殿にお参りできることでしょう。

金婚祝賀会 表紙Photo



今回の表紙は、十一月二十二日(金)北浦湖畔に於いて行われた、町主催金婚祝賀会での一コマです。結婚五十周年を迎えられたご夫婦は22組。祝賀会当日は16組が参加され、野口写真館(鉾田町)のボランティア協力により金婚の記念撮影をし、その後の式典で町長より賀状と記念品を受け取りました。

表紙を飾った仲睦まじいお二人は、柳川三郎さん・昌江さん(小幡)ご夫妻。唯一、ご夫婦でカラオケをデュエットしたお二人。さすがに五十年苦楽を共にしてきただけあり、その息はピッタリでした。いつまでも、お幸せに…。

を話してください。

*携帯電話の場合、場所を特定するため…

茨城県〇〇市の

どこどこ（近くの目標物など）

とはっきり教えてください。

また、困り事などを相談したいときには…

☎029-301-9110

（プッシュ回線の電話で#9110）

をダイヤルしてください。

■麻生警察署

☎0299-72-0110

救援車が寄贈されました

このほど、日本赤十字茨城支部より、救援車1台が北浦分区に贈られました。これは、日赤の共同募金収益が優秀であった分区に対し贈られるものです。皆さんの善意により、このような寄贈を受けることができました。ありがとうございました。



ります。

■お問合せ 国民生活金融公庫土浦支店 土浦市中央1-1-26（日本生命ビル内）

☎0298-22-4141

公庫ホームページ

<http://www.kokukin.go.jp/>

事件・事故ダイヤル

110番!!

「110番」は県内どこからかけでも全て茨城県警察本部の通信指令課につながり、事件・事故現場のより近くにいるパトカー・警察官・警察署に直接指令することによって、素早く事件・事故を解決するための電話です。

犯罪の被害を受けたり、交通事故にあったとき、それを見たり聞いたりしたときは、あわてずに心を落ち着かせて「1・1・0」とダイヤルし、警察官の指示に従って…

- ①何があったか
- ②いつ
- ③どこで
- ④現場の様子は
- ⑤犯人は
- ⑥あなたの住所・氏名

平成15年度 県立鹿島産業技術専門学院生募集

1 高卒者コース

（概ね30歳まで対象）機械技術科・電気工事科・木造建築科

2 中卒者コース

（概ね30歳まで対象）金属加工科

3 中高年齢者向きのコース

建築科

*訓練期間1年間・資格取得及び就職に有利・1及び2コース対象の学生寮有り

■お問合せ 県立鹿島産業技術専門学院 鹿嶋市林572-1

☎0299-69-1170

年末資金のご案内

今年も年末資金をお取り扱いする時期となりました。どうぞ、お気軽にご相談ください。

【国の事業ローン】

■融資額 4,800万円以内

■返済期間 運転資金5年以内・設備資金10年以内

■利率 年1.7%

（平成14年9月10日現在）

*このほか「経営安定貸付」などの特別貸付や、「教育ローン」・「恩給担保貸付」などの融資制度もある。

●「2分の1成人式」・ホームステイふれあい体験事業●

—夢を持った たくましい 子どもを育てるために— 受入世帯を募集します!!

町教育委員会では、夢を持ったたくましい子どもを育てるために、子どもたちの体験学習機会の拡大と、地域の教育力の向上を目的に「2分の1成人式」・ホームステイふれあい体験事業を実施します。

■実施方法 児童たちを町内の家庭に宿泊させていただき、受入世帯とその地域で様々な体験をする機会を設け、たくましさや愛郷心を養ってもらおうというものです。また、地域ぐるみで子育ての気運を高めていけるよう事業展開していきます。

■実施日 平成15年2月22日(土)・23日(日)の1泊2日

■対象児童 町内小学校4年生児童（2・3人1組で班編成します）

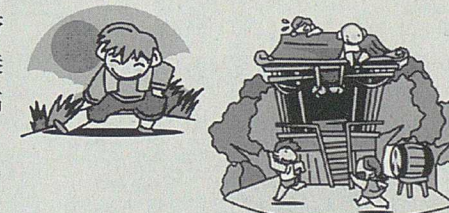
■受入世帯 町内38軒 受入世帯は原則として小・中学生のいない家庭で、2・3人の児童を一泊二日預かっていただける世帯です。なお、受入世帯には謝礼として1軒につき1万円程度お支払いいたします。「夢を持ったたくましい子ども」を育てるためにぜひご協力ください。

■受入を希望される方・

詳しいお問合せは…

町教育委員会 生涯学習課

☎35-2907



町史編さんだより ⑬

町村合併の歴史

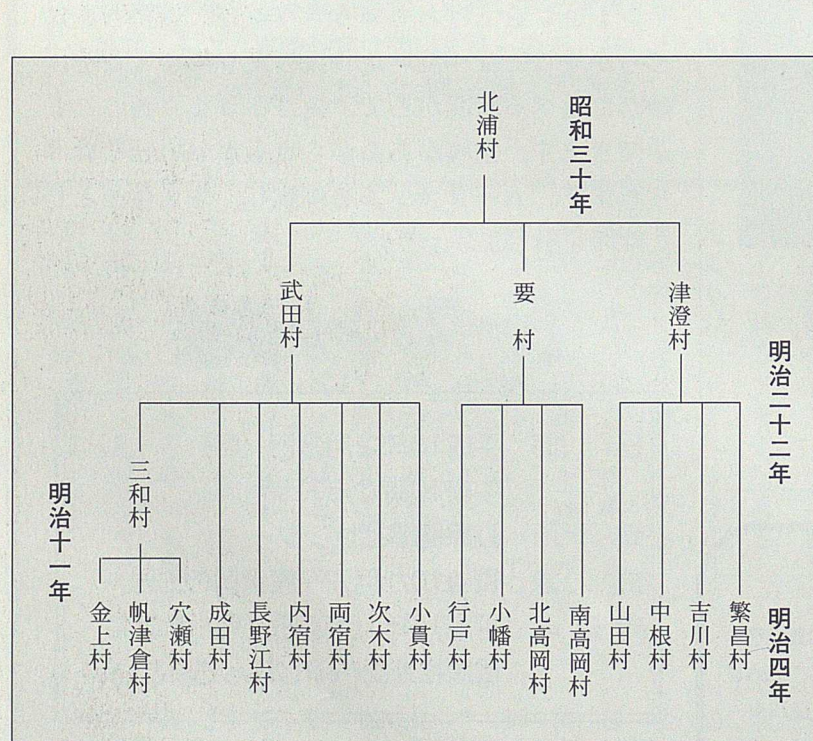


昨今新聞紙面を飾っている記事の一つに、県内の市町村合併問題があります。平成十年十二月に施行された改正市町村合併特例法により、平成十七年三月三十一日までの合併成立をめざし、各市町村ともその気運が高まっているところです。現在北浦町でも麻生町との合併が論議されており、今後の進展が注目されています。

しかし、町村の合併は今に始まったことではありません。明治四年（一八七一年）、明治新政府が旧体制を一新するために行った廃藩置県や戸籍法により、地方行政組織の基礎としての「村」が置かれてから今日まで、幾度か町村の合併が繰り返されてきました。その代表的なものが、明治二十二年の市制町村制の施行に伴う町村合併と、昭和二十八年から始まった町村合併促進法による動きでした。

明治四年当時、北浦町域には一七の村が存在しました。その後大

区小区制や戸長役場制・連合村等を経て市制町村制へと移行してきますが、その間の動きとしては穴瀬村、帆津倉村、金上村の三村合併によって三和村ができただけでなく、他の村むらに大きな変化はありませんでした。それだけに、市制町村制は大激震であったはずで、表で示したように、一五もあった村がたった三村に統合されたのです。そしてこの津澄村・要村・武田村の三村体制は昭和二十九年までその姿を変えずに引き継がれていきました。



▲『茨城県史 市町村編Ⅲ』

史料調査にご協力を!

問い合わせ先

教育委員会生涯学習課

町史編さん担当

TEL 35-2907

いそいそマイライフ

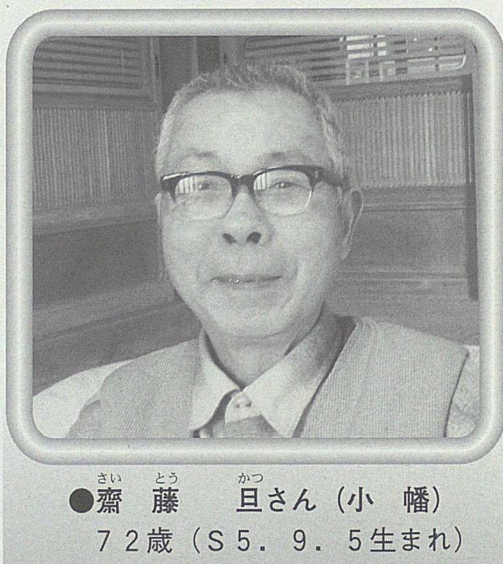
みんなの 広場

今回は、ふれあいの郷セミナーやばつらつ教室など多彩な活動をされている齋藤旦さんをご紹介します。

ふれあいの郷セミナーには、八年前から奥さんと一緒に参加し、たくさんの方との交流を通して、毎回楽しく、色々な講座に積極的に活動されています。「特に移動教室は、楽しみの一つ」と、笑顔の齋藤さん。

また、月二回、健康推進課主催のはつらつ教室にも奥さんと一緒に参加し、体を動かしたりと、楽しみが増えたそうです。もう一つの楽しみが、奥さんと一緒に行く温泉旅行。那須温泉には、毎年二回（七月と十一月）訪れるそうで、かれこれ二十年間続いているとのこと。

おじゃました時の、奥さんとの仲睦まじい姿がとても印象的でした。



● 齋藤 旦さん (小幡)
72歳 (S5.9.5生まれ)

このページは読者の皆さんがつくるコーナーです。俳句・短歌・イラスト・写真などの投稿や、若さあふれる男女、いきいきと老後を送っているおじいちゃん、おばあちゃんを募集します。自薦他薦は問いませんので、どしどし応募してください。

宛先：山田2564-10 北浦町役場 「広報きたうら」係まで TEL35-2111(内線202)

きたうら文芸

俳句

北浦俳句会

(久保博光選)

少年の景笛の音色天高し
天高し夫と二人の観覧車
天高しきさきに勝る京の旅
天高し涙腺緩むことも有り
茶柱の立ちて息災天高し
過去ありて未来に続く天高し
上棟を天の高さにしてしまふ
口中の飴もてあまし天高し
天高しおのずと太る妻ありて
大屋根の修復終えて天高し
秋高し姪の佳き日の報せあり
天高し垣根に刺したややの靴
天高し裸婦像小さくなっている
墨汁の染みゆくさきや天高し
表れに亡き母の名や天高し
恙なく検診了へて天高し
天高しりハビリの腕高くあげ
天高し筑波両峰神宿る
草刈り機日焼けせし顔天高し
ふるさとに母あり母の天高し
竹林の奥のおくまで高き空
天高し岬の香り床に置く

坂本トク 高野郁代 松本玉江 和田孟子 日本利子 日下やす子 千ヶ崎 羽生まき 高野三千春 根本かほる 額賀英子 関川ひで 野村すゑ 寺内理枝 山田健太 石上ちか子 高野敬子 高橋敏子 藤原静子 河野香苑 川井幸光 久保博光

新着図書 (11/1~11/30)

冬到来！あたたか〜いコタツで
読書はいかが？



■一般図書 103冊

*アジアのツボ (柳沢有紀夫) *カスピ海ヨーグルト (中沢 勇二) *そば打ち入門一初めてでもこれならできる (無名蕎麦の会) *食べられるキノコ200選 (信州きのこの会) *超カンタン！村上祥子のスープ革命 (村上 祥子) *人は地上にあり (出久根達郎) ほか

■参考図書 5冊

*すぐにつかえる日本語—韓国語—英語辞典 (田 星姫) ほか

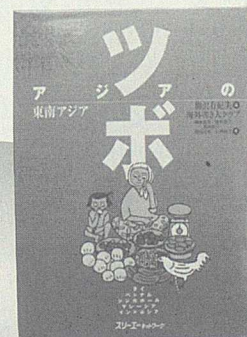
■児童図書 32冊

*生ゴミはよみがえる—土はいのちのみなもと (菅野 芳秀) *ムジナ探偵局満月池の秘密 (富安 陽子/作・おかべ りか/絵) ほか

■絵 本 31冊

*猫の恩返し (柊 あおい/原作・森田 宏幸/監督) *ハム太郎のとっこえほんでちゅ2 (河井リツ子) ほか

話題の新作



アジアのツボ

柳沢有紀夫/スリーエーネットワーク

●編・集・後・記●

最近、きのご好きな私。某きのごメーカーのCMに夢中で、もちろん携帯の着メロも「きのごの唄」！生まれて初めて松茸土瓶蒸しを味わい、釜飯も堪能。自宅では舞茸バター炒めや、なめこ汁を作って食べますね。…そんな折、町内きのこ農家の方を取材する機会が！取材を終え感じましたが、町農業の発展と共に、もったきのこの消費が増えるといいなあ。特に野菜嫌いの子供たちに食べてもらいたいですね。(M)

はつらつ保健だより

子育て健康講座・親子遊びの教室

ムーブメントのお知らせ

ムーブメントとは、色とりどりの遊具 (○△□のお手玉・ロープ・大きなスカーフ・筒・フープ・パラシュートなど) を使って、楽しい遊び・全身運動を作り出すプログラムです。

子どもたちは、ムーブメントで「どうやって遊ぼうか」と創造力を働かせ、おもいっきり体を使って楽しく遊ぶことができます。

冬場、子どもたちは「寒くて風邪をひくから」とつい暖かいお部屋の中でおやつを食べ、ビデオを見たりして過ごしがちです。子どもは、おいしいおやつや大好きなビデオで一見満足しているように見えますが、実は体も心も不完全燃焼！

子どもには特にメリハリのある1日が大切です。テンションを上げおもいっきり遊び、気持ちをほぐらすことなく泣いたり笑ったりできてこそ、静かに遊べる時間がもて、夜はゆっくり眠ることができます。空腹があるから食事がおいしく食べられます。ムーブメントを体験し、生き生きとした時間を過しましょう。

ムーブメント体験

日 時 平成15年2月3日 (月)
午前10時から12時
場 所 町保健福祉センター
対 象 概ね10か月児〜就学前の幼児
申 込 み 平成15年1月20日 (月) までに
健康推進課へ申し込んでください

お問合せ

町健康推進課 (保健福祉センター内)

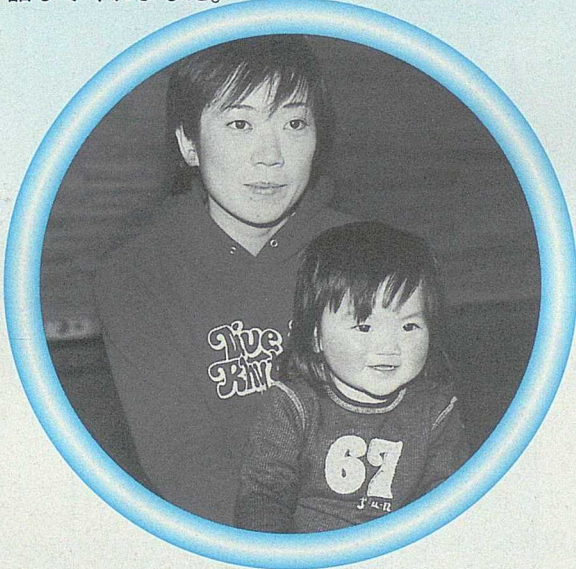
☎ 34-6200

●^{さい}藤^{とう}泉^{いずみ}水^{みづ}ちゃん (H13.3.22生まれ)

行^{ひろし}戸^この浩^{ひろし}さん・優^{ゆう}子^こさんのお子^こさん

普段、お姉^{あね}ちゃん^{ちゃん}の莉^り瑚^こちゃん^{ちゃん}とよく遊ぶとい^いう泉水^{みづ}ちゃん^{ちゃん}ですが、最近^{さい}は一人^{ひとり}で遊ぶことを覚^しえ^ました！一人^{ひとり}でど^{どこ}ん^{どん}ど^{どこ}ん、ど^{どこ}こにでも行^いっ^てし^まうそ^うです。スー^{すー}パー^{ぱー}な^などで、知^しら^らない人^{ひと}に付^ついて行^いっ^てし^まうこ^こともあ^あるそ^う！?

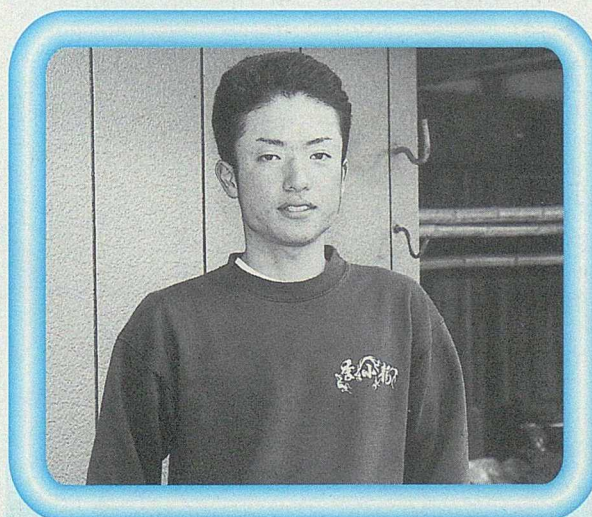
お母^{はは}さん^{さん}の優^{ゆう}子^こさん^{さん}は「病^び気^きせ^ず健^{けん}康^{こう}で、誰^{たれ}と^とも仲^な良^りく^くな^なれるよ^ように育^そっ^てほ^ほしいで^ですね」と話^わして^して^てく^くれ^れま^ました。



しん せん びと

新鮮人

Fresh person



●^{はら}原^め目^{きよ}清^{あき} 曉^{あき}さん26歳
A座・おとめ型 (山田)
農業 (レンコンなど)



●^つ津^{しま}島^ひ大^ろ 熙^ろくん (H13.1.28生まれ)

山^{かすや}田^{かよこ}の和^{かすや}哉^{かよこ}さん・佳^{かよこ}代^{かよこ}子^{かよこ}さんのお子^こさん

男^{おとこ}の子^こら^らしい、キリ^{きり}リ^りと^とした目^め元^{げん}が印^{いん}象^{しょう}的^{てき}な^な大^{だい}熙^しく^くん。最^{さい}近^{きん}、一^{ひとり}人^{ひと}で歯^はみ^みが^がき^きで^でき^きるよ^ように^にな^なり^りま^ました。お母^{はは}さん^{さん}が磨^こいてあ^あげ^げても、歯^はブ^ぶラ^らシ^しを取^とっ^て、自^じ分^{ぶん}で磨^こくそ^うです。野^の菜^{さい}の中^{なか}ではニ^にン^んジ^んン^んが好^{この}き^きで、ほう^{ほう}れ^れん^ん草^{そう}やキャ^{きゃ}ベ^べツ^つなど、葉^は物^{ぶつ}はち^ちよ^よっ^と苦^く手^て...

お母^{はは}さん^{さん}の佳^{かよこ}代^{かよこ}子^{かよこ}さん「優^{ゆう}い^い子^こに育^そっ^てほ^ほしいで^です」と将^{しょう}来^{らい}の希^き望^{ぼう}を聞^きか^かせ^せて^てく^くれ^れま^ました。

●趣味^{しゅみ}は?

サー^{さー}フ^{ーフ}ィ^ィン^ンです。大^{だい}洋^{やう}村^{むら}の海^{うみ}によ^よく行^いき^きま^ます。

●自^じ分^{ぶん}はど^どん^{どん}な^な人^{ひと}?

と^とても健^{けん}康^{こう}で、明^{めい}る^るく正^{せい}直^{ちく}。…そ^そして割^{わり}と楽^{らく}天^{てん}家^かだと思^{おも}い^いま^ます。

●好^{この}き^きな^なタ^たイ^いプ^ぷは?

優^{ゆう}し^しく^くて、素^そ直^{ちく}な^な人^{ひと}で^ですね。

●町^{まち}につ^ついて

静^{しず}か^かで^でのん^んび^びり^りし^して^てい^いる町^{まち}で^です。い^いつ^つま^までも変^{へん}わ^わら^らないで欲^ほしいで^ですね。